



目次

1. テキストデータベースに関する講演会開催のお知らせ 1

2. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用のお知らせ 2

1. テキストデータベースに関する講演会開催のお知らせ

九州大学大型計算機センターでは、本センターで開発されたテキストデータベース管理システムSIGMAを用いてフィッシャー版トーマス・マン全集のテキストデータベースであるトーマス・マン・ファイルを公用データベースとして1983年に公開し、10年となります。トーマス・マン・ファイル公開10周年を記念して標記講演会を下記のように開催いたします。

本講演会では、文学／語学の研究にいかんテキストデータベースが利用されているか、また今後どのように利用すべきであるかについて、この方面でご活躍されている研究者にもご講演いただきます。

ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：平成6年1月27日（木）13:30-17:00

場所：大型計算機センター多目的講習室（3階）

13:30-13:35 開会挨拶 牛島和夫（九州大学大型計算機センター長）

13:35-14:05 テキストデータベース管理システムSIGMA
有川節夫（九州大学理学部）

14:05-14:35 ヘーゲルのフルテキストデータベース
加藤尚武（千葉大学文学部）

14:35-15:05 国文学研究とコンピュータ -古典テキストのデータベース-
安永尚志（国文学研究資料館）

～～～ 休息 ～～～

15:15-15:45 欧米のテキスト・データベース開発と人文科学研究
長瀬真理（城西国際大学文学部）

15:45-16:15 ドイツにおけるコルプス

Martina Schwanke

16:15-16:45 テキストデータベースの共同利用

樋口忠治（九州大学言語文化部）

16:45-17:00 テキストデータベースのデータ構造

古川哲也（九州大学大型計算機センター）

問い合わせ先：古川哲也

九州大学大型計算機センター

〒812 福岡市東区箱崎6-10-1

Tel: 092-641-1101（内線2510）

email: furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp

2. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用のお知らせ

科学研究費及び受託研究費によりセンターの計算機を利用されている方に、利用期限が近づきましたので、以下の注意をお知らせします。

1. 利用期限

科学研究費による計算機の利用・・・1月28日（金）または2月20日（日）

受託研究費 “ ”・・・2月20日（日）

2. ジョブの依頼

例年1，2月中はジョブが多く当該月内に処理できないことがありますので、科学研究費及び受託研究費による計算機利用で、特に長時間ジョブについては、早めに処理依頼を行ってください。

3. ジョブの出力

利用期限が2月20日（日）となっている科学研究費及び受託研究費のジョブで、利用期限当日までに入力されても期限内に処理できなかったジョブ（実行途中のジョブも含む）は、キャンセル処理をしますのでご了承ください。

なお、利用期限が1月28日（金）の科学研究費のジョブについては、強制出力を行いますので、計算負担金額を1月末で確定する必要がある利用者は、必ず依頼したジョブを利用期限までに各自で出力まで行ってください。

（出力待ちの確認と対処方法）

a. TSSセッションによる確認と対処方法

LOGON コマンドでTSSセッションを開設後 STATUS コマンドで確認します。

```
READY
STATUS
KEQ562111 JOB A79999K#(TSU02290) IS EXECUTING ON THIS TERMINAL ....①
KEQ561921 JOB A79999KA(JOB01836) IS WAITING FOR OUTPUT ....②
KEQ561971 JOB A79999KB(JOB01853) IS WAITING FOR EXECUTION ....③
```

①は自セッションです。②は出力待ちのジョブです。③は実行待ちのジョブです。従って、②③のようなジョブがある場合は出力または消去する必要があります。このようなジョブが翌月に出力されると翌々月に請求されますので注意して下さい。上記の例の場合次のように入力して出力または消去します。③のように実行待ちのジョブは出力できませんので CANCEL コマンドで消去します。

```

READY
OUTPUT A79999KA(JOB01836) NEW(S) ....センターのクローズプリンタへ出力します。
CANCEL A79999KA(JOB01836) PURGE ....出力せずに消去します。
CANCEL A79999KB(JOB01853) PURGE ....実行待ちジョブを消去します。

```

b. L P O U T (プリンタ出力用コンソール) による確認と対処方法

センター2階受付横またはオープン室に設置されたNLP, CLP横のコンソールへ行き、登録番号とパスワードを入力する。ジョブがある場合は“O”(出力)または“D”(消去)を入力する。

4. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、科学研究費による利用で利用期限が1月28日(金)のものは1月31日(月)迄に、利用期限が2月20日(日)のもの及び受託研究費による利用のものは2月22日(火)迄に、当該計算結果を添えて2階受付又はシステム運用掛にキャンセル依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で上記期日までにキャンセル依頼が間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

5. 利用負担金の請求

科学研究費による1月分の利用負担金の請求は2月初旬に、2月分は2月末に請求処理を行います。

なお、上記研究による利用での利用負担金は、校費等での振替払いはできませんので利用にあたってはご注意ください。

システムで行っている予算管理では、予算(当初の利用予定金額-実利用金額)が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けます。従って、結果的に予算オーバーとなることがありますので十分ご注意ください。

6. データセットの取扱い

利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月の8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処理を行ってください。

なお、他登録番号(校費課題など)に移行するデータセットはアクセス権の設定が必要です。
M S P のデータセット ADDSD, PERMIT コマンドで他登録番号に ALTER 権 (リネームが可能) を与える。

U X P のデータセット 他登録番号でアクセスできるように chmod コマンドで READ 権 r (ディレクトリは検索権 x も) を与える。

(システム運用掛 内線2517)